

広報

いちき串木野

愛がっぱいのまち

Ichikushikino City

Public Relations



2

2020年2月20日発行
VOL.172



第5回いちき串木野市
フォトコンテスト
入賞作品発表



PHOTO CONTEST

 テーマ「想い」

写真部門

大賞



神橋

宇都 浩一郎(鹿児島市)

審査員評

見慣れていた照島神社がとても新鮮に視えたことに感動した。水面に映る奥行きのある色彩の表現がとても美しかった。荘厳さによって、身が清められるような神聖な印象を受けた。

準大賞



祭りの長い一日

中村 吉文(いちき串木野市)

入選

夢よ天までとどけー

内田 則夫(鹿児島市)

思いやり

吉村 省三(鹿児島市)

母と花菖蒲

大迫 充(いちき串木野市)

ぼんの(愛情)

鈴木 弘信(鹿児島市)

やったぜ!

木元 邦義(鹿児島市)

虎退治

山崎 淳子(鹿児島市)

天啓を待つ

平野 ルミ子(鹿児島市)

放課後

船蔵 亨太(いちき串木野市)

伝統継承

西谷 尚純(薩摩川内市)

出番待ち

鮫島 孝(鹿児島市)

特別賞

いちき串木野市
観光特産品協会会長賞



雨上がりの夏

馬籠 秀樹(いちき串木野市)

濱田酒造グループ賞



SHIBUKI

秋丸 光(いちき串木野市)

サクラカネヨ賞



星空の彼方へ

別府 和代(鹿屋市)

JA さつま日置
ヒオッキー賞



無病息災を願って
中村 吉文(いちき串木野市)

WEB 部門

大賞



おかえり、よくきたね。

飛松 千暁(奄美市)

審査員評

ひ孫を見つめる曾祖母の想い。ひ孫から視る純粋な眼差し。それを表すような景色と視点。家族代々の視点をゆるやかさが、陽だまりのあたたかさと重なり、ぬくもりを感じさせてくれる作品。

準大賞



曖昧な世界の中で

荒田 愛美(いちき串木野市)

入選

霜と温もり 松村 優樹(大阪府)	見上げる空 中田 幸佑(東京都)	幸せを刻む 山崎 淳子(鹿児島市)	観音ヶ池市民の森にて 田丸 信幸(鹿児島市)	祖父の仕事道具 中田 有香(東京都)
おかあさんとならんで 飛松 智子(奄美市)	トラトリ 山崎 淳子(鹿児島市)	今年も気ばろやー 中村 吉文(いちき串木野市)	桜の中の人 横手 朋子(いちき串木野市)	くるくる廻るこの世界 中田 浩恵(東京都)

総評



審査員

写真家 下蘭 詠子 氏

今年は、作品のバリエーションが前年度を上回るほど豊富でとても迷いました。年々作品の質が上がっていて、心から感動しました。

特に、WEB 部門では年齢層の若いさわやかでフレッシュな写真に魅せられました。

年を重ねたからこそ表現できる重厚な深みのある作品と若さとのバランスがとても秀逸であり、いちき串木野の良さに奥行きを感じることができました。

フォトコンテスト2019入賞作品展

- 3月15日(日)～3月29日(日)
薩摩金山蔵 金山ホール
野下13665 火曜定休日 ☎21-2110
 - 3月30日(月)～4月12日(日)
サクラカネヨ ソースギャラリー
大里3868 木曜定休日 ☎36-3121
- ※作品は、市のホームページでもご覧いただけます。

いちき串木野市フォトコンテスト2019

- テーマ 想い
- 募集期間 R 2. 1. 1～R 2. 1. 31
- 入賞作品数 28点
- 応募総数 277点(写真部門123点・WEB 部門154点)
- 審査日 R 2. 2. 7
- 審査員 写真家 下蘭 詠子 氏
- 主催 いちき串木野市
- 協賛 いちき串木野市観光特産品協会
サクラカネヨ/JA さつま日置
濱田酒造グループ

おごじょみかん隊♪

～待ちに待った

サワーポメロ収穫♪～



今年は天候にも恵まれ、こまめで順調な仕上がりでした。しかし、「数日前の想定外の強風で、収穫を抑えたサワーポメロが、たくさん落下してしまった…」と、農家さんは話されました。

これまで手をかけ、目をかけ、心をかけて育ててきた果実。落下した果実はヘタがちぎれてしまい、商品価値が落ちてしまうそうです。それでも「自然には逆えないから」と笑顔で前を向く農家さん。自然の厳しさと、ベテラン農家のたくましさを痛感します。

夏場の摘果作業や袋かけ作業を思い出しながら、立派に成長した果実を1つ1つ丁寧に収穫するおごじょ達。愛情込めたサワーポメロはきっと格別な味でしょう…♪



～みかんの枝剪定～



高品質な果実を安定して作るために、枝の「剪定」は欠かせない作業です。そして、おごじょ達にとっては何より難しく、苦手の作業です(>_<)

剪定作業は、ある程度専門的な知識が必要になります。指導員の話におごじょ達の頭は大混乱!「難しく考えすぎず、とにかく枝に日が当たるように切りましょう」とのアドバイスに少しホッとすることおごじょ達。みかんの栽培は本当に手がかります。



～春へ向けて 種まき作業～

おごじょ畑では、種まき作業が行われました。ダイコンはトウ立ちの遅い品種を選べば、この時期でも栽培できるそうです!まずは、黒マルチを貼り、穴を開ける作業。小さな種を1粒ずつ指に取り、穴にまいていきます。種をまいたら、もうひと手間。



竹でトンネルを作り、不織布をかけてあげます。寒さに負けず、春に美味しいダイコンが収穫できることを期待して…(*^_^*)♪

食彩だより

海・山など自然に囲まれ、様々な食材・食文化に恵まれたいちき串木野市の食に関わる情報をお伝えします!

串木野健康増進センター(☎33-3450)

おいしい

減塩レシピの紹介

高血圧は、血管に過度な負担がかかっている状態です。自覚症状はありませんが、そのままにしておくとさまざまな病気を引き起こす可能性があります。生活習慣を見直して、高血圧予防に努めましょう。いきなり食塩を減らすのではなく、毎日の調理や食卓で薄味や減塩に少しずつ慣れていくことが大切です。減塩食品を上手に使ったり、素材の味を生かしたり工夫をしてみましょう。

<減塩で高血圧予防!>

<1日の食塩摂取量の目標>

男性	8g / 日未満
女性	7g / 日未満
高血圧の方	6g / 日未満

温野菜のサラダ



◎材料2人分

- かぼちゃ 60g アスパラガス 小2本 ピーマン 1/2個
- 黄パプリカ 1/6個 ミニトマト 4個
- パルドレス(マヨネーズ 6g フレンチドレッシング 10g)

◎作り方

- ①かぼちゃは5mm厚さの食べやすい大きさに、アスパラガスは3等分に、ピーマン、黄パプリカは、1cm幅のくし形に切る。
- ②皿に①を入れ、ラップをし、レンジで加熱する。
- ③器に野菜を彩りよく盛り付け、混ぜ合わせたパルドレスをかける。

ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチンってご存知ですか?

子宮頸がん予防ワクチンは、現在国からの通知により、積極的な接種が勧奨されていません。しかし、接種を希望する方はワクチンの接種が可能です。接種に当たっては、厚生労働省がホームページに公開しているリーフレット等を参考に、**有効性とリスクを理解した上で接種してください。**接種を希望する際は、串木野健康増進センターまでご連絡ください。

子宮頸がんとは

- ・20～30代の女性の罹患が増加しています。
- ・ヒトパピローマウイルス (HPV) というウイルスの感染が原因で起こるがんです。

子宮頸がん予防ワクチンは

- ・12歳～16歳(標準的には、中学1年生～高校1年生相当)の女性が定期接種対象です。
- ・ワクチン接種によって、**子宮頸がんの原因の50%～70%を占める2つのタイプ(HPV16型と18型)のウイルスの感染を防ぐことができます。**

ワクチン接種後も20歳になったら子宮頸がん検診を受けることが大切です!

薩摩スチューデントと明治維新

第48回

薩摩藩英国留学生の足跡とその周辺 コワニエと朝倉盛明

薩摩藩英国留学生記念館(☎35-1865)



●コワニエと朝倉盛明

慶応元年(一八六五)、薩摩藩英国留学生であった朝倉盛明(田中静洲)は、イギリスやフランスに留学し、英語やフランス語、更に鉱山学を学んだ後、薩摩に戻り、薩摩開成所のフランス語教師になりました。

慶応3年(一八六七)、薩摩藩は領内にあった鉱山の技術指導を行わせるため、フランス人のジャン・フランソワ・コワニエを招聘しました。これは五代友厚がフランス人のモンブラン伯を通して、招聘したものです。

「芹ヶ野金山文書集(上)」に収録されている「慶応三年丁卯四月 日記 水車詰中 市来氏」によると、慶応三年十二月にコワニエと娘婿のシスレーを同行し、山ヶ野鉱山(霧島市)を視察して技術指導をしています。コワニエが後に書いた「日本鉱物資源に関する覚書」では、本市の芹ヶ野鉱山などを視察したことが記載されています。

明治元年(一八六八)、コワニエは明治政府に雇われることになり、朝倉も生野鉱山局の事務長になりました。朝倉は、フランスから大型機械を導入し、コワニエの娘婿であるシスレーに命じて鉱石の輸送手段となる石畳道路(通称・銀の馬車道)の建設などを行い、生野銀山(兵庫県)の近代化に貢献しました。



生野銀山 神子畑選鉱場
(シルバー生野所蔵)

まちの話題



神村学園高校女子サッカー一部 全国準優勝

市来農芸高校 念願の最優秀賞



1月16日と17日に東京で開催された「第3回和牛甲子園」で、市来農芸高校が総合評価部門で念願の最優秀賞を受賞しました。和牛甲子園は、全国の高校で和牛を肥育している高校生達が、和牛の肉質や日頃の取組内容を競う大会です。

取組評価部門では、鹿児島黒牛の肉質向上のために、牛にストレスをかけずに飼養管理をするなど普段から取り組んでいる「アニマルウェルフェア」について発表し、最優秀賞を獲得しました。

また、枝肉評価部門では、優良ながらも肉質は最高級のA5ランク、BMS12の評価を受けました。

そして、各部門の合計点数で争われる総合評価部門で市来農芸高校として初めての最優秀賞を獲得しました。

参加した生徒達は、「昨年の大会で悔しい思いをした。今年は周りに支えられての総合1位で感謝の気持ちが大きい」と喜びました。また、来年に向けて「新しいことに取り組んで、市来農芸高校をもっと知ってほしい」と新たな決意も話してくれました。



1月3日から12日にかけて行われた、第28回全日本高等学校女子サッカー選手権大会で、神村学園高等部女子サッカー一部が準優勝しました。

神村学園は、初戦を快勝すると勢いに乗り、接戦をものにしながらか決勝に勝ち上がりました。1月12日にノエビアスタジアム神戸で行われた決勝戦では、豊富な運動量で相手を圧倒し主導権を握る試合運びを見せながらも、0-1で惜しくも敗れ、準優勝となりました。

1月14日には、同学園の体育館で報告会が行われ、選手たちが姿を現すと、体育館には大きな拍手が沸き起こりました。

第19回全国中学生「防火防災に関する」 作文コンクール最優秀賞受賞



12月26日、日本消防会館で第19回全国中学生防火防災に関する作文コンクールの授賞式が行われ、市来中学校3年の下園朋音さんが最優秀賞を受賞しました。

今回の受賞は、「女性だからといって」と母親の姿を題材とした作品で、女性消防団員として地域の見回りや活動する母親を見て、いろいろなことに挑戦する「チャレンジ精神をもつことの大切さ」を学んだといいます。

下園さんは、「うれしいけど、とても驚いた。今後は、自分の夢に向かって挑戦していきたい」と受賞の喜びを話しました。

児童へ図書を 青少年育成へ寄付



地元の焼酎銘柄のひとつ「海童」を応援する海童倶楽部の上原博三会長、海童会の永井和之会長らが、12月23日、教育委員会を訪れ、「青少年の育成に役立てていただきたい」と、市内公立小学校9校へ、図書購入のための寄付金9万円を贈呈されました。

例年、海童倶楽部と海童会からは、会員がイベントで綿あめやかき氷を販売した収益の中から寄付をいただいております。今年で10回目となります。

ありがとうございました。



無病息災願い各地で鬼火焚き



1月5日、野平地区で今年一年の無病息災を願う鬼火焚きが行われました。

この鬼火焚きは、正月が過ぎたころ、大きなやぐらを焼いて、正月飾りについてきた厄や災いをもたらす鬼を追い払い、無病息災を願う伝統行事です。

野平地区コミュニティ協議会では、午前中から住民約40名でやぐらを組み上げました。地元小学生がたいまつでやぐらに火をつけると、高さ10m以上はあろうかという大きなやぐらから炎が一気に燃え上がり、「パン、パン」と竹のはぜる音が周囲に響き、中央の竹柱が倒れると、参加者からは大きな歓声があがっていました。また、焚き上げた後の縁起物といわれるいぶされた竹笹を持ち帰る様子も見られました。

会場では、ぜんざいややきいもなどのふるまいに、参加者からは笑顔がこぼれていました。



冠岳地区の青壮年部「冠遊会」が主催する「89円の厄払い鬼火焚き」が、2月2日、冠岳護摩段広場で行われました。

来場者は、厄払い募金「89円」を寄付し、払いたい鬼を書いた「おふだ」を竹筒に貼り付け、厄をはじき飛ばそうと、次々に火に投げ入っていました。

また、当日は節分の日を前に、大きな鬼も登場し、訪れた家族連れが豆を投げつけ、「鬼」退治するなど、楽しみながら厄払いしました。



荒川地区



別府鬼火焚保存会による鬼火焚き

なつかしいひとときを なつかシネマ



1月25日、中央交流センターで「第10回なつかシネマ」が開催されました。

今回の上映は、昔のなつかしい映画を楽しんでもらい、地域おこしにつなげようと、チーム浜風と中央地区まちづくり協議会が共催しました。約90分の上映では、来場者から笑いや歓声が上がっていました。

会場前では、上映作品の手作り看板を眺めたり、写真を撮ったりと、なつかしむ姿が見られ、当日は、鹿児島市や始良市など、市内外から約120名が訪れ、昭和のレトロな雰囲気を楽しみました。



ぽんかん祭開催



1月26日、季楽館で「いちき串木野ぽんかん祭」が開催され、ぽんかんやぽんかんを使ったお菓子などの販売が行われました。また、愛媛から大学生サークルの「プーランドポタジェ」とそのOBの社会人サークル「きりぬき」も訪れ、愛媛のみかんやジュース等の販売を行いました。

会場は訪れたお客さんで賑わい、贈答用のぽんかんなどが大人気で、たくさんのお客さんがふるさとの味を届けようと購入していました。





串木野新港でテロ対策合同訓練



1月30日、2020年東京オリンピック・パラリンピックやかごしま国体・かごしま大会の開催を控え、防災拠点や甕島との重要交通拠点である串木野新港で、テロ対処訓練が行われました。

今回の訓練には、串木野海上保安部やいちき串木野警察署など7機関約80名が参加。フェリー内に侵入した不審者の身柄確保や乗客の避難誘導、負傷者搬出及び搬送訓練を行い、各機関の非常時対応を確認しました。

交通安全レター作戦



1月17日、旭小学校の児童が、国道3号を通る車のドライバーに、安全運転を呼びかける交通安全レター作戦を行いました。子ども達が「安全運転お願いします」と声を掛け、お守りを手渡すと、ドライバーの方々は、「気を付けるね。ありがとうね」と返していました。お守りには、子ども達一人ひとりの「交通事故をなくしたい」という思いが込められていました。

ポンカン「薩州薩摩」出発式



1月23日、市来神社でポンカン「本格貯蔵 薩州薩摩」の祈願祭及び出発式が行われ、生産者や関係者が参加しました。

「本格貯蔵 薩州薩摩」は、鹿児島県で誕生したぼんかん「薩州」の中でも、「糖度12度以上」「クエン酸0.9%以下」「1か月以上貯蔵」等の基準をクリアした厳選品です。

JAさつま日置果樹部会薩州ぼんかん代表の西中間勉さんは「今年は裏年で量は少ないものの、天候に恵まれて、本当に自信を持って出せるぼんかんができた」と、胸を張りました。

これからが旬！ サワーポメロの収穫を楽しむ



2月2日、鹿児島市が主催する「グリーン・ツーリズム宿泊体験ツアー」で、県内外から参加した親子17名が本市のリツ子果樹園でサワーポメロの収穫を体験しました。

収穫期を迎えたサワーポメロ畑は、辺り一面に芳醇な香りが漂い、参加者はサワーポメロの香りを体感しながら、1つ1つ丁寧に収穫を楽しみました。

今回のツアーは「自然や人とふれあう旅」をテーマに鹿児島市を軸とする連携中枢都市（始良市、日置市、いちき串木野市）が協力して実施し、今年で3回目です。

熊本から参加した方は「サワーポメロの香りで幸せな気持ちになった。食べるのがとても楽しみ」と話しました。

